

2012年 5月 30日

物忘れドック（2次ドック）利用者情報の研究利用について

（研究課題名：健常高齢者、軽度認知障害例、及び、ごく初期の
認知症例における脳糖代謝量と認知機能の関係）

認知症は早期から介入することが重要であることから、近年、認知症の早期発見の重要性が高まっています。順天堂東京江東高齢者医療センターでは、これまで、認知症の早期発見を目的とした物忘れドックを開設し、多くの方々にご利用頂いてきました。

このたび、当院のPET-CT認知症研究センターでは、これまで物忘れドック（2次ドック）をご利用頂いた方々の検査結果をもとに、認知症の心理的特徴や画像検査上の特徴、認知症の早期発見などを目的とした研究を行うこととなりました。

対象となるのは、2012年5月30日までに物忘れドック（2次ドック）を受けた利用者です。

本研究で調査する項目は、物忘れドック（2次ドック）で実施した脳画像検査（18F-FDG PET、MRI）と心理検査（MMSE、WAIS-III、WMS-Rなど）、診察結果などです。これらの情報を分析・保存する上で、すべての利用者情報は匿名化され、氏名や住所などの個人情報は一切公表されることはありません。

今回の研究で得られた結果は、学会や学術雑誌などで報告されることがあります。その際は、統計的に処理するか、完全に匿名化した状態で報告し、個人が特定されることは決してありません。

本研究の対象に該当する利用者で研究に同意されない方はお申し出ください。同意されなくても、当院における診療行為において不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。また、本研究に関して、ご質問などがございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先

〒136 - 0075 東京都江東区新砂 3-3-20

順天堂大学医学部附属

順天堂東京江東高齢者医療センター

PET-CT 認知症研究センター

研究代表者：井関 栄三

TEL：03-5632-3111（代表）